

〈2017年度在京白聖会クラブ活動スケジュール〉

- 10月20日(金)「在京白聖会ゴルフ大会」
(会場: ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎/茨城県龍ヶ崎市) 〈1面〉
- 12月11日(月)-16日(土)「白聖芸術祭」
(会場: 文房堂ギャラリー/千代田区神田神保町) 〈1面〉
- 12月16日(土)「白聖歌会」
(宮沢賢治と五行歌の朗読会: 文房堂ギャラリー) 〈4面〉
- 平成30年2月11日(日)「歌の祭り」
(会場: ブルーティ Music and Chinese Tea/渋谷区笹塚) 〈4面〉
- 平成30年3月3日(土)「メディカルクラブ総会」
(会場: 東京ドームホテル/文京区後楽) 〈5面〉

※ご質問、お問い合わせは事務局 03-6404-6379 へお気軽にどうぞ。



2016年12月14日、白聖芸術「歌の祭り」

会場地図



文房堂ギャラリー

〒101-0051
千代田区神田神保町 1-21-1
文房堂ビル 4F
Tel: 03-5282-7941
(会場直通: 会期中のみ使用可能)
Tel: 03-3291-3445
(ギャラリー事務所)
<http://www.bumpodo.co.jp/>
*ギャラリーへはエレベーターを利用。
〈アクセス〉「神保町」駅(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、新宿線) A7出口、徒歩3分/JR「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口、徒歩10分

2017白聖芸術祭

白聖文化の発信10周年を盛大にアピール! 「白聖芸術祭」 12月11日(月)〜16日(土) 文房堂(神田神保町)で開催

「白聖芸術祭」は今年10周年を迎えます。会場は2013年の第6回以降、広い神田駿河台下の文房堂に定着。絵画・書・彫刻・陶芸・写真などの展示のほか朗読や演奏・歌唱・文学講座なども行われるようになりました。多くの皆様のご出展、ご出演、ご来場をお待ちしております。10周年を盛大に盛り上げましょう。

開催概要

- ▼開催日: 平成29年12月11日(月)〜16日(土) 11:00〜18:30(最終日は15:00) ※搬入は12月10日(日) 10:00から。
- ▼会場: 文房堂ギャラリー(左記)
- ▼出展料: 一人2千円(2点まで)

在京白聖会報

第43号

平成29年9月23日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会
在京白聖会

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL: (03) 6404-6379

FAX: 直通 (03) 6404-6379*00

E-mail: hakua_office@pmp-jp.com

(<http://www.hakua.org/tokyo/>)

題字: 浅沼 一道

で。2点以上は1点に付き、プラス1千円。グループ展出展料もこれに準じます。イベントは1時間2千円(準備、撤収時間含)。
▼懇親会: 搬入日の12月10日(日) 17:00から懇親会を行います。会費は4000円程度(会場未定)。
▼申込締切: 11月12日(日)。
▼申込と問合せ先: 三浦千波さん(S50卒)。〒211-0035 川崎市中原区井田2の15の50 電話(044) 797-2170
※なお、詳細は申込み締切り後各出展(出演)者にご案内します。



白聖芸術祭最終日 打ち上げ風景 (2016.12.17)



会場設営日、書の展示コーナーにて (2016.12.11)



昨年の参加者 (2016.10.21 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)

①郵送: 〒202-0023 東京都西東京市新町1-4-908 金山文彦さん宛
②メール: info1022@aiyos.com.jp
③金山 ④Rak: 0422-27-7841(金山)
※実施要項等 詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。

お申し込み下さい。

参加者募集

10月20日(金) —
ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

申込み締切りは9月29日(金)です。参加ご希望の方は今すぐお申し込み下さい。

開催概要

- ▼開催日: 平成29年10月20日(金)
- ▼会場: ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
- ▼申込み先及び申込み締切り: ①氏名 ②卒業年次 ③連絡先住所 メールアドレス、電話番号 ④チームの場合代表者氏名 ⑤送迎バス利用の有無を明記の上、9月29日(金)までに郵送、メールorFAXにて担当幹事までご連絡ください。(先着順)
- ▼申込み先: 本年の担当幹事: 金山文彦・間瀬隆男さん(S36卒)
- ①郵送: 〒202-0023 東京都西東京市新町1-4-908 金山文彦さん宛
- ②メール: info1022@aiyos.com.jp
- ③金山 ④Rak: 0422-27-7841(金山)
- ※実施要項等 詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。

在京白聖会ゴルフ大会

在京白聖会50周年記念誌
編集長にインタビュー

自由な白聖の精神を引き出す 鈴木文彦さん

在京白聖会50周年記念誌編集委員

来年初立50周年を迎える在京白聖会は、記念事業の一環として記念誌を発行する。編集委員長としてその指揮をとっているのが、文藝春秋で芥川賞・直木賞の選考にも深く関わってきた鈴木文彦さん(S40卒)。「東京盛岡ふるさと会」「岩手県人連合会」の会長を務めるなどふるさと盛岡・岩手のPRの先頭に立ち、絆を深めている。そのふるさと愛の原点を伺った。(聞き手・山田武秋)

●3・11が結んだ絆

—3・11が故郷との絆を強くしたとお伺いしていますか。

鈴木 私は東日本大震災があつた2011年の6月に勤めていた文藝春秋を退社しました。すると東京盛岡ふるさと会の事務局を兼ねている盛岡市東京事務所の中川所長が訪ねて来て「暇になるんだから東京盛岡ふるさと会の会長になつてくれ」と言うんです。盛岡市とは前から啄木学級の講師に井上ひさしさんを紹介するなど、交流がありました。3・11の大震災があつて私にもなか故郷のために貢献できることはないかと考えていた矢先でした。そこで一年間の準備期間をいただき、翌年10月から会長を務めています。3・11がなければ、こういう関わりは生まれなかったかと思っています。

—その後、盛岡・岩手との関わりが多くなりましたね。

鈴木 東京盛岡ふるさと会のご縁で今年4月から岩手県人連合会の会長もやることになりました。在京白聖会など岩



鈴木文彦さん(S40卒)。
文藝春秋で「スポーツ グラフィック Number」「オール讀物」各編集長、文藝編集局長、常務取締役などを歴任。

手の学校や市町村の在京組織の連合会で、10年ほど前まで井上ひさしさんが会長を務めていました。井上さんは私には師父のような存在でしたから、そのお導きと思つて引き受けました。野村胡堂・あらえびす記念館の運営委員は、10周年記念に本を作るということで、その3年ほど前に太田愛人先輩(S20卒)に引継ぎられました。

—2014年に、野村胡堂・あらえびす記念館の20周年記念として野村胡堂の『銭形平次捕物控傑作選』全3巻をまとめ、文春文庫から出版されました。

鈴木 編集長時代を含め私は『オール讀物』が長かったので、胡堂さんには『オール讀物』創刊から32年間書いていただき、特別の思いがあります。—『北の文学』の編集委員に

就任されたのはいつでしたか。

鈴木 高橋克彦さんの代わりに、昨年春からやっています。

—芥川賞、直木賞と『北の文学』の選考に違いはありますか。

鈴木 芥川賞、直木賞は選考会が年2回ありますが、私は退職するまでその選考に70回ほど関わってきました。慣例で芥川賞は『文藝春秋』の編集長、直木賞は『オール讀物』の編集長が選考会の司会をしますが、直木賞の司会を10回行いました。その経験で言え

ば、良い作家を発掘するという意味では、芥川賞、直木賞も『北の文学』も本質的に違いはありません。『北の文学』には『北の文学』のよさもあります。受賞作(優秀作)ばかりでなく、入選作も5本くらい掲載するところですよ。普通、掲載は受賞作だけです。同人誌の色彩が濃いこのシステムは誇つてよいですよ。今度75号ですが、長く続いているだけの理由はありません。

●学んだことを次代に伝える

—記念誌の編集長は内村前

会長のご指名だったとか。

鈴木 そうです。幼稚園から一年先輩の内村泰さんから、東京盛岡ふるさと会に協力するのでお前も在京白聖会に協力しろとバスターで持ちかけられました。私は編集者は自分が表にでるのではなく、裏方として作家を引き立てるのが仕事と考えていたので、断る理由を見つけられずに受けたのです。が、その彼が志半ばで亡くなつてしまった。岩手県人連合会にしても内村さんのピンチヒッターの感じなのです。

—編集長として、どのような抱負をお持ちでしょうか。

鈴木 文藝春秋に学んだことの一つに、作り手が面白いと思わないものは当然読者も面白くないと思わない。だからそのときの編集部が面白いネタを探し、面白い味つけをして、面白がつて作らないと面白い雑誌にならない、ということがあります。

記念誌は雑誌じゃないけれども、みんなアイディアを出しあつて、ワクワクして作る気持ちと同じなはずですよ。幸いにもこの自由を考え面白がる感覚は、白聖の進取の精神に通じるもののように思えるのです。

在京白聖会のみなさんお一人お一人に本気で燃えてもらわなくてはなりません。どうせなら、生きた50年史を作りましょう。よろしくお願いします。

ア・ラ・カルト

●母校の賢治詩碑前に説明板

疾風会が卒業50周年記念に設置今年、卒業50周年を迎えた昭和42年卒疾風会が、記念として母校の宮沢賢治詩碑前に説明板を設置6月25日(日)除幕式を行いました。諸君はこの風爽たる諸君の未来園から吹いて来る

透明な清潔な風を感じないのか「生徒諸君に寄せる」と題する賢治の未定稿詩の中の一節が刻まれたこの詩碑は、平成8(1996)年宮沢賢治生誕百年を記念し、盛岡・盛岡一高OBの建築設計関係者有志の会である白聖建設会によって建立されたものです。

除幕式は川上圭一校長や現役生徒らにも列席いただき、盛大に執り行われました。帰盛の機会がありましたら、母校に足を伸ばし、ぜひ見学して見てください。



宮沢賢治詩碑説明板除幕式に集った皆さんと説明板(写真右)

2017 総会報告

白聖健児よ、世界に挑め！
331人が参加、盛大に開催

日時：平成29年5月13日(土)

講演会・総会15:00、懇親会18:00

会場：東京ガーデンパレス(御茶ノ水)

平成29年5月13日(土)、第49回在京白聖会総会が東京ガーデンパレスで開催されました。荒天にも関わらず331人の方にお越しいただきました。来賓としては、4月に着任された盛岡一高の川上圭一校長先生と、白聖同窓会の谷村邦久会長にご臨席を賜りました。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



大友啓史さん(S60卒)が講師を務めた講演会

今回は「白聖健児よ 世界に挑め！」をテーマに掲げ、楽しく、次代につながる総会を目指しました。世界で活躍する映画監督の大友啓史さんに企画協力いただき、各地で活躍する昭和60年卒同期や若手ピアニストとして注目を集める小井戸文哉さん(H26卒)との対談、「世界」「岩手」「若手」をテーマとするテーブルでの歓談、盛岡の食文化を代表する「じゃじゃ麺」と、「福田パン」の流れをくむ

映画監督
大友啓史さん(S60卒)白聖同窓会
谷村邦久会長(S41卒)盛岡一高
川上圭一校長(S52卒)

「吉田パン」の店主登壇、さらには海上自衛隊の護衛艦「かが」の遠藤昭彦艦長とニュージールランドで教育事業を推進する及川孝信さんから寄せられたビデオメッセージも上映されました。また、新たな試みとして新卒上京生を招待するなどして、40人を超える平成卒の同窓生にも参加いただきました。会の最後には、例年同様、校歌を歌い上げました。



anecco. (銀プラ応援女子会) が特製グッズを販売



S61卒同期と小井戸文哉さん(H26卒・右)を交えての座談会

次回の第50回在京白聖会総会は、平成30年5月19日(土)、日暮里のホテルラングウッドで開催の予定です。昭和61年卒業の皆さんが「在京白聖祭」大人の文化祭」をテーマとして既に準備を始めています。来年の総会で皆様に再びお会いできることを楽しみにしております。(昭和60年卒幹事団一同)



最後は恒例の校歌斉唱



平成年次卒業の若いOB・OGも大勢参加



今年の総会幹事 S60卒の皆さん。ありがとうございました！



来年の総会幹事 S61卒の皆さん。来年の50回記念総会をよろしく！

「歌の祭り」初の盛岡開催で相互の交流を深める

「歌の祭り」報告

「歌の祭り」盛岡で熱く開催
6月25日(日) 於：アンサンブル

盛岡市大通り二丁目のレストラン、アンサンブルで、6月25日(日)、盛岡で初めての「歌の祭り」を開催しました。当日は地元の方が受付開始より大分早く来店。盛岡、在京合わせて42名(盛岡29名、在京13名)の方々が5時間に及ぶピアノ伴奏で歌うひと時を堪能しま

した。最初の企画目標の交流を活性化させる緒についてと思います。参加年齢幅も28年、演奏ジャンルも幅広く、元氣よくハイレベルな歌唱で祭りにふさわしい内容でした。

「歌の祭り」恒例の夏祭り 7月30日(日) 於：ブルーティ

7月30日(日)恒例の夏の歌祭りを開催しました。25名が参加(23名演奏)。参加者は毎回各自の新作を2曲披露し

ますので、回を重ねてもいつも新鮮。31年卒から51年卒まで世代を超え交流を楽しんでいます。個で演じ全員でそれを楽しむのが「歌の祭り」。どうぞお気軽にご参加ください。

「歌の祭り」参加者募集

第18回「歌の祭り」

平成30年2月11日(日)ブルーティ

第18回「歌の祭り」を下記日程で開催します。歌のジャ



盛岡で開催された初の「歌の祭り」の参加者(2017.6.25 アンサンブル)



第17回「歌の祭り」の参加者(2017.7.30 ブルーティ)

ンを問わず祭りを楽しむ趣旨です。50年代、60年代卒の皆さん振るって応募ください。
期日：2018年2月11日(日)
受付開始：11時30分
開演：12時 終演：17時
会場：ブルーティ Music and Chinese Tea 渋谷区笹塚1-61-8
TEL: 03-3375-1474
会費：5千円(各自の飲食費)
エントリー曲数：お1人2曲以内
申し込み先：35年卒 大内秀之
横浜市戸塚区汲沢5-305

白聖歌会

宮沢賢治の童話と歌の朗読 12月16日(土) 13時 白聖芸術祭

WEB歌会にリニューアルした白聖歌会は、2カ月に1回、会員の作品を「白聖歌会の部屋」に発表しています。この掲示板は「白聖応援団」サイト内にあり、「e在京白聖会」のリンクから訪問できます。五行歌はじめ、短歌、俳句、川柳、詩などジャンルを問わず、どなたでも自由に投稿できますので、ご寄稿をよろしく願っています。年に1、2回、オフミーティングも実施しています。

また、白聖歌会は12月16日(土)の白聖芸術祭最終日、恒例となった野口田鶴子さん(S

TEL: 090-4729-2419
E-mail: ciw04580@rio.ocn.ne.jp
申し込み締切：2018年1月10日(水)

有志による「歌の祭り」 12月14日(木) 14時 白聖芸術祭

白聖芸術祭に「歌の祭り」有志がエントリーします。12月14日、14時開演です(16時まで)。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

40卒)による宮沢賢治の童話「黄いろのトマト」と会員作品を朗読を行います。野口さんは昨年、イーハトーブ奨励賞を受賞されました。魂のこもったすばらしい朗読を聴き、ぜひお集まりください。
なお、白聖芸術祭最終日の野口さんの朗読会のあとは、玉澤健児さん(S43卒)とその仲間による楽しいミニライブも行われます。



昨年の野口田鶴子さん(中央)による宮沢賢治と会員の作品の朗読会

在京白聖メディカルクラブ

次回メディカルクラブ総会
来春(30年)3月3日(土)開催

在京白聖メディカルクラブは、在京の白聖同窓生で医療関係の業務に従事している皆様の親睦を深め、在京白聖会全体にも奉仕していくことを目的として年一回の総会を開催しております。今年は平成29年3月4



第4回在京白聖メディカルクラブ総会懇親会(2017.3.4)

日東京ドームホテルにて第4回総会が開催され、27名のご参加をいただきました。昭和47年卒志和利彦先生(日本医科大学眼科教授)にご講演をいただいたあと、懇親会で親睦を深めることが出来ました。今後の活動ですが、平成30年3月3日18時30分より東京ドームホテルにおいて第5回在京白聖メディカルクラブ総会の開催を予定しております。医療連携をテーマにした特別講演、総会の後、懇親会で親睦を深めることとなっております。メディカルクラブの皆様のご奮闘のおかげを御待ちしております。

また、第49回在京白聖会総会において例年通り「健康相談コーナー」を開設させていただきます、ついに二桁となる10名の会員からの御相談をいただきました。来年の総会でも開設を予定しておりますので、どんな些細な相談でも構いませんので、総会においでの際にはお立ち寄り下さい。

●在京白聖メディカルクラブ事務局
志和成紀(S58卒)
國本 聡(S57卒)

在京白聖レディス会

ゲストに岩瀬左千世さん
6月24日(土)於：銀座サンミ

第13回在京白聖レディス会が6月24日(土)、銀座の「サンミ 高松本店」に於いて開催されました。出席者は20名の予定でしたが、当日体調を崩して一人欠席で19名でした。そのうち今年初めての参加者は在京白聖会のHPで岩瀬さんの講演をぜひ聴きたいと急遽申し込みました。



第13回在京白聖レディス会に参加された皆さん(2017.6.24 銀座 サンミ 高松本店)

記念撮影の後、おいしいフランス料理を堪能しつつ、自然に卒業年度ごとに着席した様子の席順でおしゃべりに花が咲きました。今年のゲストは昭和48卒の岩瀬佐千世さん。長いあいだ監査法人で会計監査のお仕事に従事、12年前に突然、岩手葛巻の実家の山林を承継、山林業に従事することになった後のお話を「くずまき里山と炭焼きを守る」と題して語っていただきました。

講師をつとめた
岩瀬佐千世さん(S48卒)

来年もまたこの会でお会いできることを楽しみに閉会いたしました。

戸来ソウ子(S40卒)

ア・ラ・カルト

●鈴木昭久さん(S20卒)

『ゴルフダイジェスト』に登場久さんが週刊『ゴルフダイジェスト』5/9・16合併号の特集「高松志門のゆるゆる打法 88歳で200Y!力が抜ければこんなに飛ぶ」に登場しました。鈴木さんは今でも週3回はゴルフをやられ、在京白聖会ゴルフ大会でも優勝やドラコンの常連です。この記事は

「在京白聖会HPの「ゴルフ大会ページ」をご覧ください。」



鈴木さんが4頁にわたり特集されたゴルフ雑誌の記事の一部

●毎日新聞で母校OB紹介記事
全8回シリーズ掲載中

毎日新聞東北6県共通地域面の「ぐるっと東北・母校をたずねる」で、8月4日から盛岡・高松が全8回の予定で連載中です。登場人物は在京OBに限りませんが、第2回は斎藤環さん(S55卒)でした。原則毎週金曜日の掲載で9月20日(金)が最終の第8回となります。この記事は「ぐるっと東北・母校をたずねる」をネットで検索するとご覧いただくことができます。どうぞ、お楽しみください。

●小川達雄さん(S22卒)ご逝去

6月23日、不病の人に

宮沢賢治の研究などで知られる小川達雄さんが6月23日ご逝去されました。昨年暮れの白聖芸術祭での講演が「最終講義」になってしまいました(前号参照)。今年も講演をされる予定でしたので残念です。母校をこよなく愛し、土人(猛者)踊りの起源などにも詳しく、白聖魂を教えていただきました。心より冥福をお祈りいたします。

故・小川達雄さん
(2016.12.14)







ア・ラ・カルト

● 第1回「先輩を開む会」

9月16日(土)第50回総会ブレイVENT開催
来年の総会は節目の第50回となる。昭和61年卒の総会幹事年次は「大人の文化祭」をテーマに、ブレイVENTとして9月16日(土)、元会長の及川昭伍さん(S25卒)を迎え「先輩を開む会」を開く。各界で活躍した先輩を後輩たちが囲み、人生の苦楽や体験を聞いて仕事や今後の進路に役立てるとともに、白聖OB同士の新たな交流の場とすることを企画している。この会報には間に合わないが、今後何度が開催される予定だ。在京白聖会公式HPに開催が告知されるが、定員があるので日々チェックし早めに申し込んでほしい。

編集後記

▼同窓会にも変化の潮目があるようだ。当会の場合、最近の潮目は2011年の東日本大震災だった。それまで200人集めれば成功とされた総会が一挙に300人を超え、以降その水準が標準になった。絆を求める社会の反映とも言えるが、幹事年次ほか裏方の努力も見逃せないだろう。記念すべき50回総会を目前にブレイVENTも始まった。新たな変化の兆しを感じられる。嬉しい限りだが、関係者にはくれぐれも無理な負担にならないようにお願いしたい。杞憂とも思うが、親睦の会が本業の支障になることがあってはならない。

▼1月に啄木研究家の遊座昭吉さん、6月に宮沢賢治研究家の小川達雄さんが亡くなられた。お二人は元より同僚であり、研究者としてもきりばりだった。この訃報に時代の大きな潮目を感じた方も多いのではないだろうか。会報

お願い

平成29年度在京白聖会会費未納の方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円のお振込みをお願いいたします。なお、すでにお支払い済みの方に振替用紙が届きましたら、ご容赦下さい。